

第9期環境保健調査研究成果発表会プログラム

9:00	開場
9:30	開会
9:30~9:45	挨拶 独立行政法人環境再生保全機構理事 藏重 徹雄 環境保健調査研究評価委員会委員長 宮本 昭正

<第1部 9:45~11:20> 【座長 森川 昭廣】

9:45~10:05	【分野】 (1) 気管支ぜん息の発症予防に関する調査研究 ①ぜん息発症予防のための客観的評価指標によるスクリーニング基準 【研究課題名】 「気管支ぜん息発症予防のための客観的かつテーラーメイド的予知のスクリーニング基準の確立」 代表者：近藤 直実（国立大学法人岐阜大学大学院）
10:05~10:25	【分野】 (1) 気管支ぜん息の発症予防に関する調査研究 ①ぜん息発症予防のための客観的評価指標によるスクリーニング基準 【研究課題名】 「ぜん息発症予防のための客観的評価指標によるスクリーニング基準」 代表者：望月 博之（東海大学）
10:25~10:45	【分野】 (1) 気管支ぜん息の発症予防に関する調査研究 ①ぜん息発症予防のための客観的評価指標によるスクリーニング基準 【研究課題名】 「ぜん息患者の増悪及び未発症成人の発症の予測のための気道バイオマーカーの確立とその大気汚染物質の影響評価への応用に関する調査研究」 代表者：滝澤 始（杏林大学）
10:45~11:05	【分野】 (1) 気管支ぜん息の発症予防に関する調査研究 ②乳幼児の早期治療、早期介入によるぜん息発症予防効果 【研究課題名】 「新生児からの皮膚バリア機能保持・シンバイオティクス投与による吸入アレルギー感作・喘鳴・喘息発症の予防に関する研究」 代表者：下条 直樹（国立大学法人千葉大学大学院）
11:05~11:20	第1部全体質疑及び意見交換（15分）

<休憩> 11:20~11:35（15分）

<第2部 11:35~12:50> 【座長 西牟田 敏之】

<p>11:35~11:55</p> <p>発表 15分 質疑応答 5分</p>	<p>【分野】</p> <p>(2) 気管支ぜん息・COPD 患者の健康回復に関する調査研究</p> <p>①気管支ぜん息患者の効果的な長期管理支援のための患者アセスメント手法と評価に応じた患者教育プログラム</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「気管支ぜん息患者の効果的な長期管理支援のための患者アセスメント手法と評価に応じた患者教育プログラム」</p> <p>研究代表者：大矢 幸弘（国立成育医療研究センター）</p>
<p>11:55~12:15</p> <p>発表 15分 質疑応答 5分</p>	<p>【分野】</p> <p>(2) 気管支ぜん息・COPD 患者の健康回復に関する調査研究</p> <p>①気管支ぜん息患者の効果的な長期管理支援のための患者アセスメント手法と評価に応じた患者教育プログラム</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「アレルギー専門コメディカルによる喘息・アレルギー疾患自己管理・長期管理指導の質の向上、医療の効率化に関する研究」</p> <p>研究代表者：赤澤 晃（東京都立小児総合医療センター）</p>
<p>12:15~12:35</p> <p>発表 15分 質疑応答 5分</p>	<p>【分野】</p> <p>(2) 気管支ぜん息・COPD 患者の健康回復に関する調査研究</p> <p>②就学期の患者を対象とする新たな健康相談、健康教育のあり方</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「就学期の患者を対象とする新たな健康相談、健康教育のあり方に関する研究」</p> <p>研究代表者：小田嶋 博（国立病院機構福岡病院）</p>
<p>12:35~12:50</p>	<p>第2部全体質疑及び意見交換（15分）</p>

<昼食> 12:50~13:50 (60分)

<第3部 13:50~15:50> 【座長 眞野 健次、内山 巖雄】

<p>13:50~14:10</p> <p>発表 15分 質疑応答 5分</p>	<p>【分野】</p> <p>(2) 気管支ぜん息・COPD患者の健康回復に関する調査研究 ③吸入アレルゲン回避のための室内環境整備の手法と予防効果</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「吸入アレルゲン回避のための室内環境整備の手法と予防効果」</p> <p>代表者：福富 友馬（国立病院機構相模原病院）</p>
<p>14:10~14:30</p> <p>発表 15分 質疑応答 5分</p>	<p>【分野】</p> <p>(2) 気管支ぜん息・COPD患者の健康回復に関する調査研究 ④客観的指標によるぜん息コントロール状態の評価</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「気道炎症、気流閉塞、および気道リモデリングに関するそれぞれの客観的指標を用いたぜん息コントロール状態評価法の確立」</p> <p>代表者：石井 幸雄（国立大学法人筑波大学）</p>
<p>14:30~14:50</p> <p>発表 15分 質疑応答 5分</p>	<p>【分野】</p> <p>(2) 気管支ぜん息・COPD患者の健康回復に関する調査研究 ④客観的指標によるぜん息コントロール状態の評価</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「客観的指標による喘息コントロール状態の評価」</p> <p>代表者：大田 健（国立病院機構東京病院）</p>
<p>14:50~15:10</p> <p>発表 15分 質疑応答 5分</p>	<p>【分野】</p> <p>(2) 気管支ぜん息・COPD患者の健康回復に関する調査研究 ④客観的指標によるぜん息コントロール状態の評価</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「小児ぜん息の病態とコントロール状態を反映する新しい客観的評価手法確立に関する研究」</p> <p>代表者：藤澤 隆夫（国立病院機構三重病院）</p>
<p>15:10~15:30</p> <p>発表 15分 質疑応答 5分</p>	<p>【分野】</p> <p>(3) 気管支ぜん息の動向等に関する調査研究 ①気管支ぜん息患者の予後と変動要因に関する調査研究</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「気管支喘息患者の予後と変動要因に関する調査研究」</p> <p>研究代表者：谷口 正実（国立病院機構相模原病院）</p>
<p>15:30~15:50</p>	<p>第3部全体質疑及び意見交換（20分）</p>

<休憩> 15:50~16:05（15分）

<第4部 16:05~16:55> 【座長 福地 義之助】

<p>16:05~16:25</p> <p>発表 15分 質疑応答 5分</p>	<p>【分野】 (2) 気管支ぜん息・COPD 患者の健康回復に関する調査研究 ⑥呼吸リハビリテーションの実践及び客観的評価手法</p> <p>【研究課題名】 「呼吸リハビリテーションの実践及び客観的手法に関する研究」 研究代表者：千住 秀明（国立大学法人長崎大学）</p>
<p>16:25~16:45</p> <p>発表 15分 質疑応答 5分</p>	<p>【分野】 (2) 気管支ぜん息・COPD 患者の健康回復に関する調査研究 ⑤COPD のセルフマネジメント教育プログラムの開発及び効果的な介入方法</p> <p>【研究課題名】 「タブレットPCを用いた COPD 患者のセルフマネジメント教育システムの開発と効果的な介入方法に関する調査研究」 研究代表者：植木 純（順天堂大学）</p>
<p>16:45~16:55</p>	<p>第4部全体質疑及び意見交換（10分）</p>

<第5部 17:00~18:00> 【座長 宮本 昭正、福地 義之助】

<p>17:00~17:20</p>	<p>分野（1）（3） 全体討議①（20分） 【パネリスト 各研究課題代表者5名】</p>
<p>17:25~17:50</p>	<p>分野（2） 全体討議②（25分） 【パネリスト 各研究課題代表者9名】</p>
<p>17:55~18:00</p>	<p>総評 環境保健調査研究評価委員長 宮本 昭正</p>
<p>18:00</p>	<p>閉会</p>